

令和5年4月11日

データサイエンス・オンライン講座の受講者募集開始 —「社会人のためのデータサイエンス入門」のリニューアル開講—

総務省は、統計リテラシー向上の取組として、“データサイエンス”力の高い人材育成のため、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を令和5年6月13日（火）からリニューアル開講することとし、本日から受講者の募集を開始します。

本講座は、社会人・大学生を対象とした、データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座です。是非御活用ください。

- データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」の受講者の募集を本日から開始します。
- 本講座は、平成27年3月に開講し、これまで延べ約16万8千人に受講していただきました。
今回、最新の統計データを用いるほか、グラフの見方や統計リテラシー等の内容を追加し、全面リニューアルして開講します。
- 本講座の開講期間は、令和5年6月13日（火）～8月9日（水）の予定です。
本講座紹介用ウェブサイト（<https://gacco.org/stat-japan/>）において、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御活用ください。
※ 受講登録は令和5年8月2日（水）までの予定です。

（別紙）

データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：和田課長補佐 石田係長 栗山主査

電話：03-5273-1023（直通）

E-mail: y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

講座の目的：統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用役に役立つ

開講日：令和5年6月13日（火）

学習時間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課題：各週の確認テストと最終課題の実施

講師：安宅和人氏（慶應義塾大学環境情報学部教授）ほか



週	各週のテーマ	内容
1	統計データの活用	統計データを用いた分析事例を知り、統計リテラシーを学ぶ (大人がデータサイエンスを学ぶべき理由、統計データからわかること、統計リテラシーの重要性等)
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎を学ぶ (データの種類、代表値、分散・標準偏差、相関係数、回帰分析、標本分布等)
3	データの見方と表し方	データの見方と適切なグラフの選び方を学ぶ (比率の見方、時系列データの見方、グラフを作る時・読む時の注意点等)
4	公的データの使い方	誰もが使える公的統計データの取得方法と使い方を学ぶ (公的データの入手方法、e-Stat ^{*1} やjSTAT MAP ^{*2} の使い方、本講座のまとめ等)

※1 政府統計の総合窓口

※2 総務省統計局及び（独）統計センターが運用する、各種統計データを地図上に表示し、視覚的に統計データを把握できる地理情報システム

▶ 講座の流れ

講義動画

確認テスト及び最終課題

修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

<p>「社会人のためのデータサイエンス入門」</p> <p>(講座の特徴) データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成27年3月 直近の開講：令和4年6月 開講回数：17回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×6～9回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ 約168,000人が受講</p>	<p>「社会人のためのデータサイエンス演習」</p> <p>(講座の特徴) 「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成28年4月 直近の開講：令和4年10月 開講回数：11回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×5週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ 約76,000人が受講</p>	<p>「誰でも使える統計オープンデータ」</p> <p>(講座の特徴) 公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成29年6月 直近の開講：令和5年1月 開講回数：9回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ 約43,000人が受講</p>
--	--	--

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座